学校番号	3002

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	歴史総合	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「現代の歴史総合　みる・読みとく・考える」（山川出版）						
副教材等	「現代の歴史総合　みる・読みとく・考える」ノート改訂版（山川出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合では、人間の歩みについて、近代・現代に焦点をあて、世界とそのなかにおける日本の歩みと関連付けながら学習します。しかし、歴史的事象をただ暗記することだけを求めてはいません。歴史的事象を時期や推移などに着目して捉え、事象同士を因果関係などで関連付けたりして、現代的な課題を追究したり、解決したりする活動を行います。
そのような活動を通して、主体的に考え行動できる「市民」になっていくことを期待しています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な 視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸 資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移， 比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・ 多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う
【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される市民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明する力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される市民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歴史の扉	①歴史と私たち ②歴史の特質と資料	a: 私たちの生活や身近な地域などにみられる諸事象が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。 b: 諸資料や図版などから適切に情報を読みとり、その時代の旅の様子や現代との異同を判断している。 c: 身近な題材に対して自身で「問い」を立て、歴史との関連を追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	結びつく世界と日本の開国	①18 世紀の東アジアにおける社会と経済 ②貿易が結んだ世界と日本 ③産業革命 ④中国の開港と日本の開国	a:諸資料から世界と日本がいかに結びついていったかの経過や背景などを理解している。 b:18 世紀の日本と世界の結びつきに着目して、日本がどのように世界と結びついていたのかを考察し、表現している。 c:18 世紀の日本と世界の結びつきについて、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連付けて追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
2学期	国民国家と明治維新	①市民革命 ②国民国家とナショナリズム ③明治維新 ④日本の産業革命 ⑤帝国主義 ⑥変容する東アジアの国際秩序 ⑦日露戦争と東アジアの変動	a:諸資料から国民国家を形成しようとする動きが 19 世紀になって広まった原因を理解している。 b:国民国家の形成がもたらした影響や課題について考察し、標線している。 c:国民国家の形成について、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連付けて追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

	総力戦と社会運動	①第一次世界大戦の展開 ②ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭 ③ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ④世界経済の変容と日本 ⑤アジアのナショナリズム ⑥大衆の政治参加 ⑦消費社会と大衆文化	a:諸資料から第一次世界大戦が長期化した要因や大戦後の影響について理解している。 b:第一次世界大戦の特徴についてそれまでの戦争と比較したうえで考察し、表現している。 c: 第一次世界大戦の影響やその後の社会運動について、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連付けて追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
3学期	経済危機と第二次世界大戦	①世界恐慌の時代 ②ファシズムの伸長と共産主義 ③日中戦争への道 ④第二次世界大戦の展開 ⑤第二次世界大戦下の社会 ⑥国際連合と国際経済体制 ⑦占領と戦後改革 ⑧冷戦の始まりと東アジア諸国の動向 ⑨日本の独立と日米安全保障条約	a:諸資料からファシズムが大衆から支持を受けた社会的背景や第二次世界大戦の背景と推移について理解している。 b:第二次世界大戦の影響(戦時下の生活、新たな国際体制、占領など)について考察し、表現している。 c:国際協調体制の動揺や第二次世界大戦の性格と惨禍について、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連付けて追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題
	冷戦と世界経済	①冷戦下の地域紛争と脱植民地化 ②東西両陣営の動向と 1960 年代の社会 ③軍拡競争から緊張緩和へ ④地域連携の形成と展開 ⑤計画経済とその波及 ⑥日本の高度経済成長 ⑦アジアのなかの戦後日本	a:諸資料から冷戦がアジア・アフリカ諸国に対して与えた影響について理解している。 b:東西冷戦の展開とそれに対抗する動きや、世界経済の拡大と特徴について、考察し、表現している c:地域統合の進展と社会主義諸国の動向や高度経済成長が進む日本とアジアとの関係の結びつきについて、学習の見通しをもって取り組むとともに、自身の問いと関連付けて追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

	世界秩序の変容と日本	①石油危機 ②アジア諸地域の経済発展 ③市場開放と経済の自由化 ④情報技術革命とグローバリゼーション ⑤冷戦の終結とソ連の崩壊 ⑥現代の東アジア・アフリカ・ラテンアメリカ ⑦地域統合の拡大と変容 ⑧地域紛争と国際社会 ⑨現代と私たち	a:諸資料から情報通信網が核時代の国際経済体制の構築に果たして役割や東アジア諸国の経済成長の原因などについて理解している。 b:新自由主義の推移や背景、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを考察し、表現している c:これまでの学習を振り返りながら、自身で現代的な諸課題に対する問いを設定し、追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度